

総合歯科診療部

連絡先 022-717-8410(総合歯科診療部受付)



研修歯科医の診療風景



指導歯科医(左)と研修歯科医(右)



部長
菊池 雅彦

特色

総合歯科診療部は、包括的歯科診療と臨床教育の推進を目的に設置された診療部であり、平成18年度に歯科医師臨床研修が必修化されてからは、臨床研修の管理・運営・指導に重点をおいて、全国の歯学部・歯科大学から、毎年4～50名ほどの研修歯科医を受け入れています。臨床研修では、口腔全体を一つの単位として捉えた「一口腔一単位制」の診療方針に則った全人的歯科医療の実践と、本学歯学部臨床教育の理念である「考える歯科医師」の育成を目指しています。研修歯科医は、新患診査から始まり、う蝕、歯周病、義歯などの高頻度治療から予防管理に至る一連の歯科医療を実践しています。臨床研修を終えて当診療部に在籍している若手歯科医は、研修歯科医の指導のかたわら、総合歯科診療としての保存系・補綴系の診療に従事し、文字通り総合診療医を目指し研鑽に励んでおり、ほかに日本補綴歯科学会、日本老年歯科医学会、日本総合歯科学会の専門医・認定医を有する経験豊富な歯科医は、高齢者の難症例などの治療にも対応しています。

感染予防対策治療部

連絡先 022-717-8431



歯科手指衛生場面



大型口腔外吸引装置



部長
江草 宏

特色

感染予防対策治療部は歯学部附属病院に創設され、診療科名をクリーン歯科として、免疫機能低下で感染に罹患しやすい患者さん(易感染患者さん)、すでに感染症に罹患している患者さんの治療を中心に感染対策に取り組んできました。平成25年までクリーン歯科診療室を継続していましたが、その後歯科外来へ感染予防の診療機能を移行させました。当診療部の特色は、歯科分野の(1)感染予防の基礎教育、(2)器材の滅菌・消毒管理、(3)診療室での感染予防対策、(4)針刺し切創・体液曝露対策、などについて、臨床実習生や臨床歯科研修医を含む歯科臨床に関与する従事者への啓発と実践を行っています。その他、院内では感染管理室と共催し、ICT巡回・定例会へ参加、感染関連の委員会の開催や協力も行っています。その他国立大学附属病院感染対策協議会を通じて歯科感染対策の広報と普及を目指し、部会活動を行っています。平成25年から医療安全推進室へ歯科分野の担当として所属し、歯科の医療安全管理を兼務しています。

顎口腔機能治療部

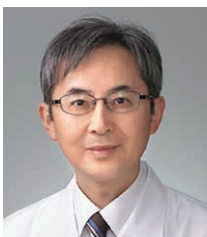
連絡先 022-717-8412(顎口腔機能治療部受付)



言語治療室



機能検査室



部長
五十嵐 薫

特色

顎口腔機能治療部は、設置当初から頭蓋顔面領域に先天性疾患を有する患者さんを主な対象として、調和のとれた機能的な歯列・咬合を形成し、良好な発音機能の獲得を目指す専門外来です。現在は、医科歯科統合に伴い設置された唇顎口蓋裂センターにおいて、院内他科とチーム医療を実践しています。当部は、以下の2つの治療室と1つの検査室から構成されています。

矯正歯科治療室(頭蓋顔面先天異常グループ)では、口唇口蓋裂などの頭蓋顔面領域に先天性疾患のある小児を主な対象として、生後間もなくから矯正歯科治療を行っています。

言語治療室では言語発達や発音状態を定期的に評価し、必要に応じて言語治療を実施しています。診療技術部リハビリテーション部門に所属する言語聴覚士1名が配置されています。

機能検査室では、先天性疾患、顎変形症、顎関節症を主な対象として、下顎運動、咀嚼筋活動、咬合力、咀嚼能力などの検査を行っています。診療技術部検査部門に所属する臨床検査技師1名が配置されています。